

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	高齢者安心見守り・食事サービス事業				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	---	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	買い物や食事が困難な高齢者	→ 配食を希望する人数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	安心して在宅生活を送れるようにする。	→ 配食を受けている人数
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	市民から利用希望があった場合、担当区域の高齢者ほっと支援センターが自宅訪問し、調査。同センターによる申請代行を受けて、市が利用決定する。決定後、配食事業者に配食を依頼し、利用者から追加、キャンセル、休止等の希望があった場合、業者に連絡する。 業者から配達時不在であった利用者について連絡があった場合は、必要に応じ、利用者や家族、関係者に連絡を取り、状況確認を行う。	→ 延べ配食数(年末年始を除く毎日)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明		
	成果指標	②の数値	人	58	72	67		
	目 標	②の目標値	人			72	67	67
		目標値設定の考え方	買い物や炊事が困難である高齢者等に昼食を配達し安否確認を行うため、前年度実績を目標に設定した。					
活動指標	③の数値	件	9,205	9,562	8,411			

3 経費	事業費(実績)		円	1,513,320	1,684,548	1,533,974	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	756,660	842,274	766,987	
		特定財源	円	756,660	842,274	766,987	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	3,993,420	4,160,448	4,007,174		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	食事サービスについては、在宅高齢者の食事の確保や安否確認を目的に昭和59年度から社会福祉協議会で実施開始。市は平成12年度から人件費と事務費に対し社会福祉協議会に補助金を交付していたが、平成28年度から補助金交付を廃止し、市が実施主体となり、直接、配食事業者に委託して、運営している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 社会福祉協議会では、週2回の配達から始め、週4回、週5回、年末年始を除く毎日と、時代とともにニーズが高まり、配食日数が増加。市でも年末年始を除く毎日、昼食を配達しており、利用を希望する高齢者は多い。

